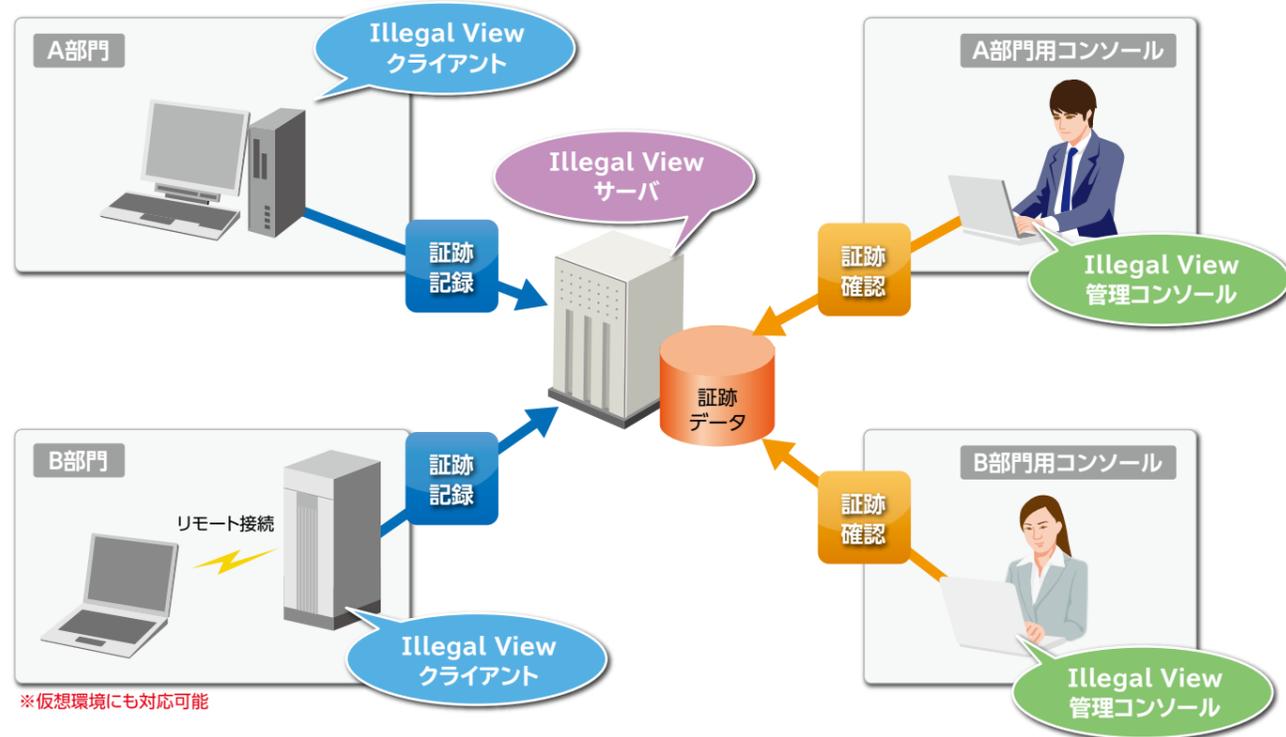


■システム構成例

部門管理者ごとのアクセス権限を設定し、認証の確認範囲を適切に設定できます。
また、Illegal Viewの管理コンソールはライセンスフリーです。(複数の管理者端末にインストール可能)



■動作環境

▶Illegal Viewサーバ

OS*1 *2 *7	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows 8.1*3 Windows 7*3
CPU	Pentium4以上推奨
メモリ	2GByte以上推奨
HDD	プログラムのインストールに約20MBを使用します。記録データの保管にはお客様環境に応じて別途容量が必要となります。*4 *5 *6

▶Illegal Viewクライアント

OS*1 *2	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows 10 Windows 8.1 Windows 7
CPU	Pentium4以上推奨
メモリ	1GByte以上推奨
HDD	プログラムのインストールに約20MBを使用します。オフライン記録を利用する場合、別途容量が必要となります。

▶Illegal View管理コンソール

OS*1 *2	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows 8.1*3 Windows 7*3
CPU	Pentium4以上推奨
メモリ	512MByte以上推奨
HDD	コンソールプログラム格納に20MByte

- *1 各OSの日本語版/英語版、32bit/64bitに対応しています。
- *2 仮想PCはバージョンやパラメータが多く、そのすべてに対する動作確認をおこなうことはできないため、動作保証外といたします。
- *3 サーバ用途OSではないため、本製品導入後のネットワーク障害は免責といたします。
- *4 サーバPCのディスク容量がなくなった場合、クライアントからの転送データは記録しません。
- *5 1クライアントあたり1日の最大記録サイズは2GByteを上限とし、以降のクライアントからの転送データは記録しません。
- *6 ひとつのサーバには最大5,000クライアントを登録することができます。
- *7 64bit系OSへの64bit版の導入には事前にMicrosoft Accessデータベースエンジン2010再頒布可能コンポーネントの導入が必要です。

※イリーガルビュー、Illegal Viewは、株式会社ケイディエスの登録商標です。
※HITACHI、およびJP1は、株式会社日立製作所の商標または登録商標です。

商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談受付

電話による受付

☎ 0120-954-536

受付時間 10:00~17:30 月曜日~金曜日(祝日、当社休業日を除く)

メールによる受付

hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com

※ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答等のため、当社の親会社(株式会社日立ソリューションズ)親会社の関連会社及び株式会社日立製作所に提供(共同利用も含む)することがあります。取り扱いには充分注意し、お客様の許可なく他の目的に使用することはありません。

HSC201703

※製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合がございます。
最新情報は、当社ホームページをご参照ください。
※本カタログの内容は、2017年3月現在のものです。
※本カタログに記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

◎株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト
<http://www.hitachi-solutions-create.co.jp/>

オペレーション証跡ソリューション

HITACHI
Inspire the Next

Illegal View
イリーガルビュー

あなたの会社を、内部不正から守ります



不正行為

不注意によるミス

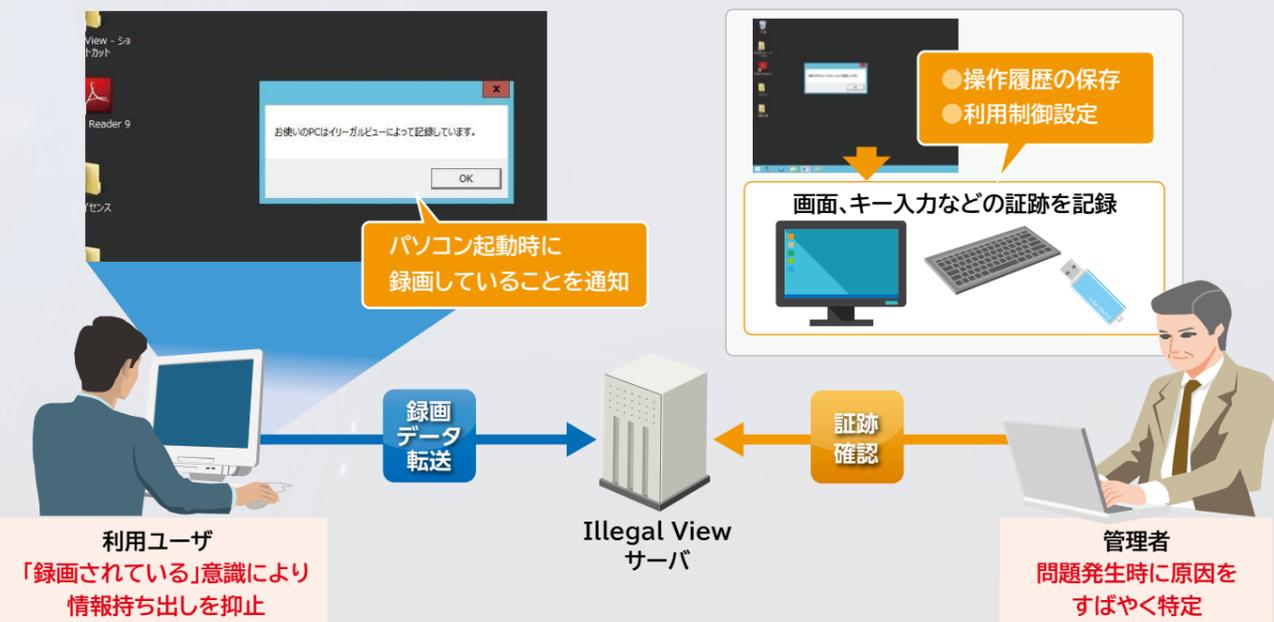
外部媒体の利用

Illegal View イリーガルビュー

パソコン画面を常時記録し、証拠を管理。
不正操作の強力な抑止力になります！

操作画面の録画で内部不正へ対策

Illegal Viewはパソコンやサーバの画面を常時録画し続け、作業の操作を記録します。
不正行為を抑止するとともに、万が一の情報漏えい発生時に、必要な情報をすばやく収集できます。



利用者に「監視されている」意識を持たせ、不正操作を抑止

さまざまなシーンで活用可能

Illegal Viewが役立つのは不正操作の抑止だけではありません。
さまざまなシーンでご活用いただけます。

- サーバメンテナンスの証拠確認に**

メンテナンス時の動画と操作履歴を記録し、監査証拠として利用できます。

 - ▶ 実行コマンド
 - ▶ 操作ファイルなどの確認
- 遠隔地のサーバ・パソコンの集中監視に**

リアルタイムで複数のサーバを同時に監視し、監視員のコスト低減に役立ちます。
- ワークライフバランス支援に**

在宅勤務やサテライトオフィス利用時の業務実態を管理者が把握可能。また、作業者の業務品質向上にも役立ちます。

 - ▶ 業務実態把握・確認
- 他アプリケーションとの連携に**

指定アプリケーションの起動/停止と連動して録画の開始/停止ができるため、オペレーション操作のミス等を容易に確認できます。

連携例：
「JP1/Navigation Platform」

Illegal Viewの特長

少ないデータ容量で記録可能[※]

独自の高圧縮技術により、他製品と比較して小さい容量で保存できます。

記録された画像データの1画面あたりのサイズ

Illegal View	5kB
A社製品	35kB
B社製品	136kB

※記録条件:5秒間隔、連続8時間
XGA(1024×768) 4bitに減色

- ▶ 大規模・大容量の記憶装置は不要
- ▶ ネットワークへ負荷を与えず、システム環境や業務運用を変えずに導入可能

確認したい箇所をすばやく再生可能



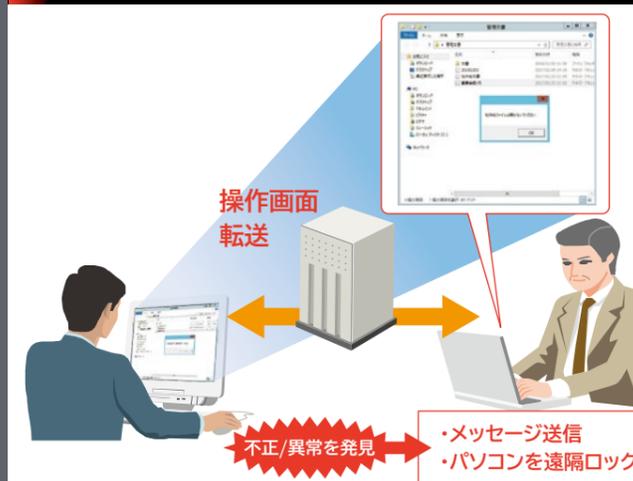
- ▶ さまざまなログデータをキーとして、録画された映像をピンポイントで再生可能
- ▶ アプリケーション起動やハードウェアの変更履歴をサーバに保存、一括で管理可能

アラーム設定と通知でさまざまな操作を制限



- ▶ 特定のファイル操作や外部媒体の利用などを検知し、管理者へ通知。
- ▶ パソコン画面の自動ロック

“今” おこなわれている操作を把握



- ▶ 管理対象パソコンの画面をリアルタイムで確認
- ▶ リモートデスクトップ画面も監視可能